

ケイパビリティ(Capability)とは:
地域ケイパビリティ研究会(座長 佐藤郁夫札幌大学教授)はケイパビリティを次のように定義しています。

「地域に眠る潜在的な宝である資源について、能力を把握し、質の高い、競争力優位なものを、もっとも効果的に創出していく能力」

さらに簡明には、

「地域の潜在力を使いこなす地域力」

地域ケイパビリティ研究会が目指すものは:

「北海道の各地域で、質の高い資源を持ちながら十分に能力を発揮しきれていないプロジェクトや取り組みに対し、あと一步の支援を行うこと」

「第三者的な立場を保持しながら現場の側にたって課題を整理し、新しい展開のステージに移行すべく対応策をアドバイスし実証的展開に向け応援すること」

「地域づくりのドライブ機構」

未定稿であることの意味:

この冊子のキーワードにあたる「地域型社会的企業」の概念は、従来の地域ビジネスの定義ではとらえられないオルタナティブな内容を含んでいる。そのため、今後さらに言葉を吟味し規定していく途上にあるとの考えから、加筆修正の余地を意図的に表明するため。

ケイパビリティの概念の肉付けと並んで、さらにケイパビリティ的な事例をさらに公募収集しながらより具体的な「地域の潜在力を使いこなす地域力」を身につけるために、さらに多くの関係者と問題意識の共有拡大と蓄積を見越して、あえて未定稿にするもの。

「地域経営知」のプラットフォームへつなぐもの。

地域ケイパビリティ研究会は平成 21 年度より、一般財団法人 北海道開発協会の公益事業の一つとして設置され、これまでに『ケイパビリティで見直す地域経営』、『社会環境変化に対応したビジネスモデル』を内部検討テキストとしてまとめ、各々を題材とした座談会を開催しています。その内容は当協会広報誌「開発こうほう」に掲載されており、開発協会ホームページより見ることができます。座談会のテーマと URL は下記のとおりです。

「ケイパビリティで見直す地域経営」 2010.11月(568号)
http://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no568_zadan-1.pdf

「社会環境変化に対応したビジネスモデル」 2012.05月(598号)
http://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no598_zadan.pdf

地域ケイパビリティ研究会事務局